



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1074 2017 年 5 月 15 日

5 月 15 日～6 月 15 日は「情報通信月間」です

期間中は、「ICT が未来を拓く、豊かな社会」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIB でも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会(5 月 29 日)<Web にて申込受付中>」、「周波数資源開発シンポジウム 2017(6 月 30 日)」を開催します。

ARIBからのお知らせ

第 150 回電波利用懇話会開催のお知らせ 「5G 実現に向けた取組み」

今後のモバイルブロードバンドの更なる発展に伴い、大容量、超高速、超低遅延、多数接続等の通信利用が想定されており、これらに対応するため 2020 年以降を目標とする第 5 世代移動通信システム(いわゆる 5G)の検討が進められております。5G の検討については、世界的には国際電気通信連合(ITU)で標準化活動が開始され、諸外国においてはフォーラム等の団体が設立され活発な研究開発等の活動が行われております。

我が国におきましても、2014 年に開催されました総務省の「電波政策ビジョン懇談会」において、第 5 世代移動通信システムのロードマップが示され、その早期実現のため、産官学が連携して強力に取り組んでいく必要性が明記され、それを受けて、同年 9 月に第 5 世代モバイル推進フォーラム(5GMF)が設立されました。更にその後、総務省は、2016 年 1 月から「電波政策 2020 懇談会」を開催し、2020 年に向けた我が国のワイヤレスサービスの発展・国際競争力強化のための方策や新たな無線システムを導入するための制度見直しの方向性等についての提言が 2018 年 7 月に行われました。

これらの施策、体制のもと、第 5 世代移動通信システムの研究開発は着々と進行し、5G に関する総合実証試験を東京及び地方において 2017 年度から実施することも総務省において計画されています。

今回の電波利用懇話会では、総務省総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室の中村室長をお迎えして、第 5 世代移動通信システムの早期実用化を目指して総務省が取り組んでおられる研究開発や総合実証試験、周波数確保、制度整備、更には今後の方針等、関連する最新の施策についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時：平成 29 年 6 月 6 日(火) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号 日土地ビル 11 階
- 3 題 名：5G 実現に向けた取組み
- 4 講 師：総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課
新世代移動通信システム推進室 室長 中村 裕治 様
- 5 参 加 者：70 名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 6 申 込 先：当会ホームページ(<http://www.arib.or.jp/>)の「講演会等開催案内」まで
- 7 参 加 費：ARIB 正会員及び賛助会員は無料、非会員は 5,000 円
- 8 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2017@arib.or.jp

ARIBの動き

ARIB/DiBEG～SBTVD フォーラム意見交換会 第 3 回会合を開催

ARIB/DiBEG～SBTVD フォーラム意見交換会 第 3 回会合を開催しました。

- 1 日 程：2017 年 4 月 26 日(水)
- 2 場 所：米国 ラスベガスコンベンションセンター会議室
- 3 出席者：
(ブラジル側)

SBTVD フォーラム：ホセ・マルセロ会長、ロベルト・フランコ評議会委員、他 3 名

ブラジルテレビ技術協会：リリアナ・ナコネチニジ会長、オリンピック・フランコ代表理事
(日本側)

ARIB：菅原 DiBEG 議長、村山 DiBEG 次世代放送検討 TF 主任、本間研究開発本部次長

4 概 要：

ARIB のデジタル放送普及活動作業班(DiBEG)とブラジルのデジタルテレビの標準化団体である SBTVD フォーラムは、地上デジタル放送日本方式(ISDB-T)の国際普及に関する連携強化を図るため、半年毎を目途に定期的な意見交換会を実施しています。今般、米国ラスベガスで開催された放送機器展(NAB SHOW 2017)に両組織が参加する機会を捉え、第 3 回の意見交換会を開催しました。

会合の冒頭に、この 4 月に新しく SBTVD フォーラムの会長に就任したマルセロ氏より挨拶があり、続いて両組織における最近の取組に関する情報交換を行いました。日本側より、今年 1 月に ISDB-T の採用を決定したエルサルバドルをはじめとした ISDB-T 採用国に対する技術支援活動等の状況や、日本における 4K・8K 放送の進捗状況等について説明した一方、ブラジル側より、今年 3 月に行われた同国最大の都市であるサンパウロでのアナログ放送停波の状況や、同国における次世代放送に関する検討状況等について説明がありました。

続いて、両組織で作成した、日本及びブラジルの ISDB-T 規格の差分を取りまとめた共同文書の更新について議論を行い、今回日本側から提示した改定案に対して後日ブラジル側が修正コメントを回答することで作業を継続していくことが確認されました。

さらに、中南米地域における緊急警報放送(EWBS)の普及方策等に関して意見交換を行うとともに、両国で実施されている放送・通信連携サービスについて調和の可能性を検討するための意見交換を開始することで合意しました。

また、次回会合は今年 8 月にブラジルのサンパウロで開催される放送機器展(SET EXPO 2017)の機会を捉えて行うことが合意されました。



意見交換会の模様

日ボツワナ共同作業部会 第 6 回会合に参加

ボツワナにおいて日ボツワナ共同作業部会 第 6 回会合が開催されました。

- 1 日 程：2017 年 4 月 26 日(水)
- 2 場 所：ボツワナ共和国ハボローネ 大統領府放送サービス局(DBS) 会議室
- 3 出席者：
(ボツワナ側)

マツァバ大統領府副次官はじめ DBS、ボツワナ通信規制庁(BOCRA)、ボツワナ国営放送(BTV)、在ボツワナ STB 製造メーカーより計 23 名
(日本側)

尾西駐ボツワナ日本国特命全権大使、高木情報通信国際戦略局次長をはじめとした総務省、在ボツワナ日本国大使館、日系企業、JICA ボツワナ事務所、ARIB より計 15 名

- 4 概 要：

ボツワナ共和国は、2013 年 2 月にアフリカ地域において初めて日本方式の地上デジタル放送(ISDB-T)の採用を表明した国であり、同国における ISDB-T 導入に関する技術支援等を目的として、ボツワナ・日本両国政府間で定期的に共同作業部会を開催しています。開催場所は、原則的に持ち回りとなっていますが、今回はボツワナ側の体制が変わったこともあり、前回に引き続きボツワナで開催することになりました。ボツワナでは、既にデジタル放送を開始しており、全国の送信設備の設置もほぼ完了している状態です。

会合では、ボツワナ側より、デジタル放送に関する今後の計画について説明があり、ほぼ全土でデジタル放送が開始されたことから、今後は ASO (Analog Switch Off : アナログ放送の停波) に着手し、地域を限定して ASO リハーサルを行った後、2018 年 1 月を目途に全国で ASO を実施する予定との説明がありました。また、地上デジタル放送の本格普及に向けて、同国内のメーカーが STB 製造を目指して本格的な活動を開始していること、新たに民間放送事業者へ免許交付を行うための公募を実施したことなどについても説明がありました。一方、日本側より、日本における ASO 実施時の周知広報活動の事例の紹介や、4K・8K 放送や双方向サービス(Hybridcast)等の次世代放送サービスの導入状況等についての説明を行うとともに、実際の受信機を用いた緊急警報放送(Emergency Warning Broadcast System : EWBS)のデモンストレーションを行った上で、ボツワナにおいて ASO のリハーサルを実施する際に EWBS に関する実証実験を行うことを提案しました。

また、次回の共同作業部会は、ボツワナにおける ASO のリハーサルの時期を勘案しつつ日本で開催する方向で調整を行うこととなりました。



共同作業部会の模様



EWBS デモの様子

日中韓情報通信標準化会議 第 49 回 IMT WG 会合の概要

日中韓情報通信標準化会議 (CJK) 第 49 回 IMT WG 会合が開催されました。

- 1 日 程 : 2017 年 5 月 9 日 (火) ~ 10 日 (水)
- 2 場 所 : 日本・福岡市 (アクロス福岡)
- 3 出席者 :

各標準化機関のメンバーとして、ARIB から 10 名、CCSA (中国) から 9 名、TTA (韓国) から 9 名が参加しました。

- 4 会合の目的 :

CJK IMT WG 会合は、日中韓 3 ヶ国の標準化機関 (SDO: Standards Development Organization) の ITU-R、APT 及び 3GPPs 等における IMT の国際標準化に対する取り組み等に関する情報・意見交換を行うことを目的としています。

- 5 主要結果

- ・ 4 月に開催されたアジア・太平洋電気通信共同体無線グループ (AWG) 第 21 回会合および 2 月に開催された第 26 回 ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合の結果、各 SDO

の活動報告、3GPP の議論状況報告に関して確認を行いました。

- ・また、5月15日から開催予定の第2回 ITU-R Task Group 5/1 に入力した寄与文書について情報共有を行いました。
- ・第27回 WP 5D 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行うとともに、3つの Special Interest Group (SIG-Spectrum, SIG-Evaluation, SIG-Requirement) の活動状況を踏まえ、各 SDO の提案内容の共通部分を基に共同寄与文書化について検討を行いました。
- ・この結果、4件の寄与文書について共同寄与文書化の調整を進めることになりました。
- ・SIG-Requirement については、検討課題が終了したため、新たな SIG の設置も含め、今後取り組む内容を継続的に議論していくことになりました。

6 次回会合のスケジュール：

次回は、2017年9月4日～5日に中国で開催される予定です。



CJK 第49回 IMT WG 会合の様子

今週の ARIB 内会合(5月15日～5月19日)

5月17日(水) 第252回技術委員会(放送分野)

5月19日(金) デジタル放送普及活動作業班会議(第63回)

今週の国際会合(5月15日～5月19日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

**電波法施行規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集
(1.6GHz帯/2.4GHz帯を用いた移動衛星通信システム及びKa帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システム(ESIM)の導入等)**

【平成29年4月26日】

総務省は、1.6GHz帯/2.4GHz帯を用いた移動衛星通信システム及びKa帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システム(ESIM)の導入等に向けて、これらの無線局の技術基準に係る制度整備を図るため、電波法関係省令等の改正案を作成しました。

これらについて、平成 29 年 4 月 27 日(木)から同年 5 月 31 日(水)までの間、意見募集しています。

詳細については[【平成 29 年 4 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

**電波法施行規則の一部を改正する省令案等についての意見募集
—分電盤に関する規定の改正等—**

【平成 29 年 4 月 26 日】

総務省は、分電盤に関する規定の引用法令の改正に伴う修正を行うため、電波法施行規則の一部を改正する省令案等について、平成 29 年 4 月 27 日(木)から同年 5 月 31 日(水)までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【平成 29 年 4 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

**電波法施行規則等の一部を改正する省令案等に係る意見募集
～700MHz 帯高度道路交通システムの高度化に伴う制度整備～**

【平成 29 年 4 月 26 日】

総務省は、700MHz 帯高度道路交通システムの高度化に向けて、当該システムに路路間通信(路側機間通信)を導入するための無線局の技術基準に係る制度整備を図るため、電波法関係省令等の改正案を作成しました。

ついては、これらの制度整備案について、平成 29 年 4 月 27 日(木)から同年 5 月 31 日(水)までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成 29 年 4 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

**国家戦略特別区域において特定実験試験局として使用可能な周波数の
範囲等を定める告示案に係る意見募集**

【平成 29 年 4 月 28 日】

総務省は、電波法施行規則(昭和 25 年電波監理委員会規則第 14 号)第 7 条第 5 号の規定に基づき、国家戦略特別区域において特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等について新たに告示を制定することとし、告示案を作成しました。

本告示案について、平成 29 年 4 月 29 日(土)から同年 6 月 2 日(金)までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成 29 年 4 月 28 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

技研公開 2017 開催
2020 年へ、その先へ、広がる放送技術

日本放送協会

NHK 放送技術研究所(技研)の最新の研究成果を広く一般に公開する「技研公開 2017」を以下のとおり開催します。

○ 開催日時

- 期間 2017 年 5 月 25 日(木)
～ 28 日(日)
- 時間 午前 10:00 ～ 午後 5:00
(終了の 30 分前までにご入場ください)

○ 展示内容

今年は、2020 年をターゲットにした研究開発と、さらにその先を見据えて取り組んでいる研究の中から、30 項目の成果を分かりやすく魅力的に展示します。

人工知能・AI を活用した番組制作技術「スマートプロダクション」の展示では、SNS などインターネット上の文字情報のビッグデータから、ニュース性のある出来事をいち早く抽出し、番組の制作を支援する技術を紹介します。

また、競技中のボールの軌跡やスピードなどを画面上にリアルタイムで CG 合成する「スポーツグラフィックスシステム」の展示では、バレーボールを使った実演により、スポーツ中継の未来像を体感いただきます。

そのほか、8K の大画面上映や、講演会・シンポジウムを実施します。週末の 5 月 27 日(土)、28 日(日)には、研究員が解説する「ガイドツアー」や、お子さまを対象としたイベントも開催します。

詳しい情報は NHK の技研ホームページをご覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/strl/open2017/>



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp